

CATEYE MICRO Wireless



CYCLOCOMPUTER
CC-MC200W

● 使用前に必ず本書を最後までよく読んで、いつでも見られるように大切に保管してください。
ホームページ上で動画を交えた詳しい解説や取扱説明書をダウンロードできますのでご活用ください。

警告・注意

- 走行中は、コンピュータに気を取られないで、安全走行を心がけてください。
- マグネット、センサーおよびブラケットはしっかりと自転車に取付け、緩みがないことを定期的に点検してください。
- 誤って電池を飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。
- コンピュータは炎天下に長時間放置しないでください。
- コンピュータは絶対分解しないでください。
- コンピュータは落下させないでください。損傷の原因となります。
- ブラケットに装着した状態で **MODE** を押すときはコンピュータ表面のドット部周辺を、**SSE** と一緒に押すときは **SSE** の上から押してください。他の部分を強く押すと誤作動や損傷の原因となります。
- ブラケットバンドのダイヤル部は必ず手で締付けてください。工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。
- コンピュータや付属品を拭くとき、シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面を傷めるので使わないでください。
- 使用済みの電池は各地域によって定められた方法で処理してください。
- 液晶画面の特性として、偏光レンズサングラスでは表示が見えにくくなります。

ワイヤレスセンサーについて

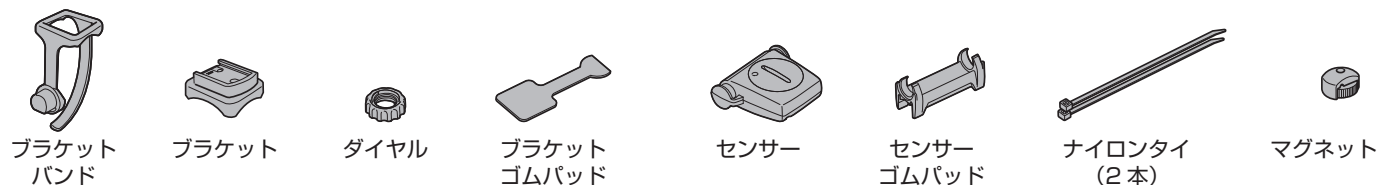
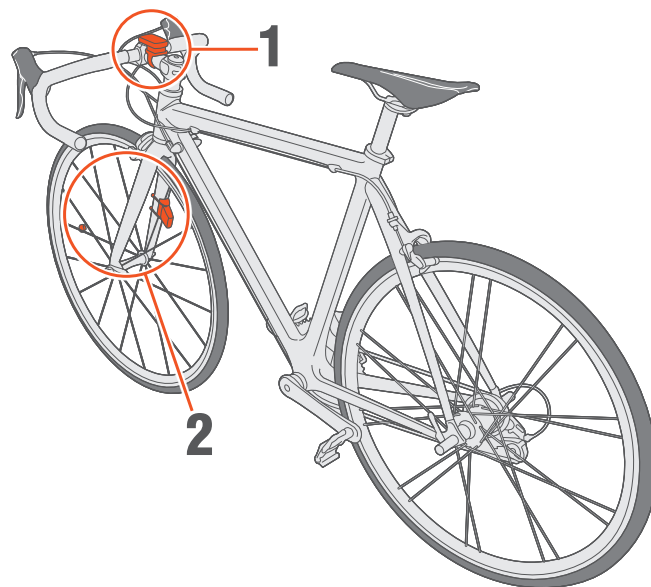
センサーの信号は、混信を防ぐため受信距離が最大 70 cm に設計されています。(受信距離はあくまでも目安です)

取扱いには次の点にご注意ください。

- センサーとコンピュータの間隔が離れすぎると受信できません。受信距離は、気温低下、電池消耗でも短くなります。
- コンピュータの底面がセンサー方向を向いていないと受信できません。

次のような環境では干渉を受け、誤作動する場合があります。

- テレビ、パソコン、ラジオ、モーターなどの近くや自動車、鉄道車両内。
- 踏切りや線路沿い、テレビの送信所、レーダー基地など。
- 他のワイヤレス機器や一部のバッテリーライトと併用している場合。

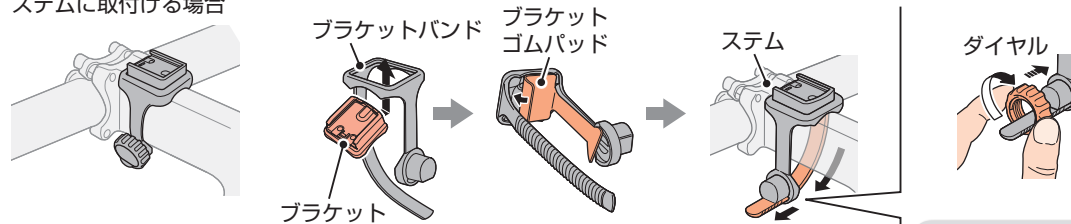


1 ブラケットをステムまたはハンドルバーに取付けます

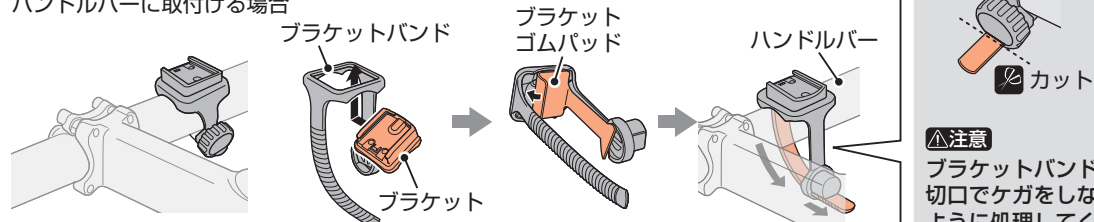
ブラケットはブラケットバンドへの組付けで、ステム・ハンドルバーどちらでも取付けることができます。

△注意 ブラケットバンドのダイアル部は必ず手で締めてください。
工具などで強く締めるとネジ山がつぶれる恐れがあります。

ステムに取付ける場合

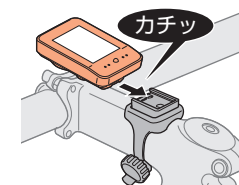


ハンドルバーに取付ける場合



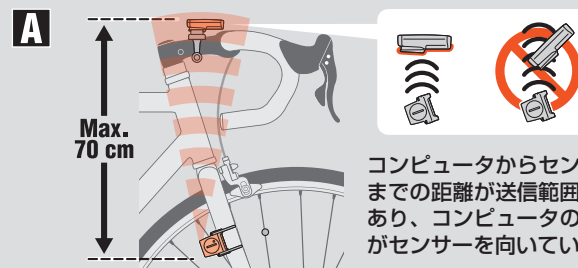
※ エアロ形状のハンドルバーや、より太いステムに装着したい場合は、オプションのナイロントайブラケットをご利用ください。

コンピュータの着脱



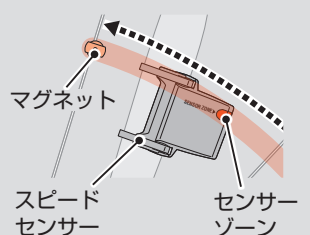
前方を浮かせるように押し出す

△注意 センサーとマグネットは次の条件を満たす位置に取付けます。

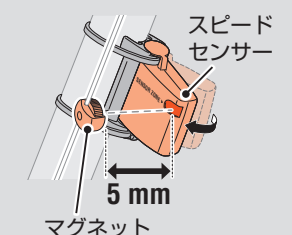


コンピュータからセンサーまでの距離が送信範囲内にあり、コンピュータの底面がセンサーを向いている。

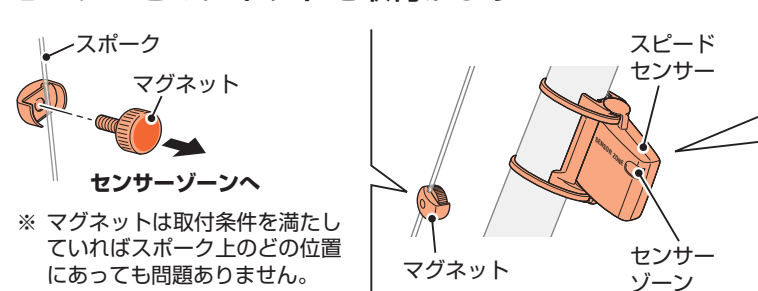
B マグネットがセンサーのセンサーゾーンを通過する。



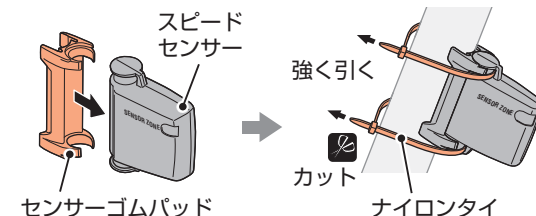
C センサー表面と、マグネットの隙間が 5 mm 以内である。



2 センサーとマグネットを取付けます



※ マグネットは取付条件を満たしていればスポーク上のどの位置にあっても問題ありません。

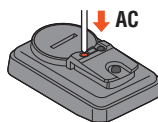


※ センサーはできるだけフロントフォークの上方に取付けます。

はじめて使用するときや工場出荷時に戻す場合は、以下の手順でオールクリア操作を行います。

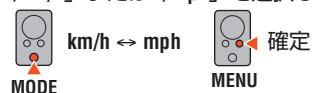
1 オールクリア（初期化）します

コンピュータ裏面の AC ボタンを押してください。



2 計測単位を選択します

「km/h」または「mph」を選択してください。



3 タイヤ周長を入力します

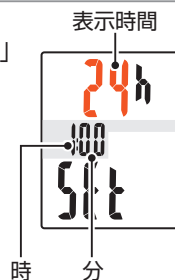
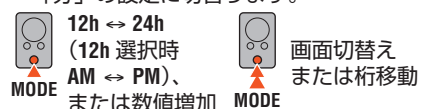
自転車の前輪タイヤ外周の長さを mm 単位で入力します。

※ 目安として「タイヤ周長ガイド」をご活用ください。

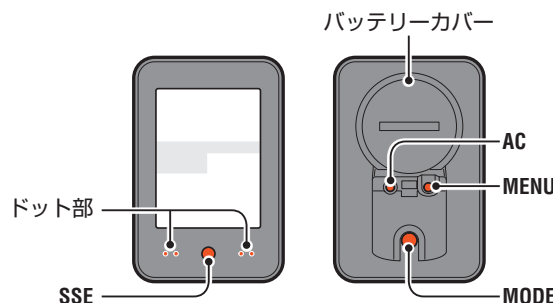


4 時刻を合わせます

MODE を長押しすることにより「表示時間」→「時」→「分」の設定に切替ります。



5 MENU を押して設定を完了します



動作テスト

取付後、前輪を軽く回し、コンピュータに速度が表示されることを確認します。表示されないときは取付条件 A B C (2 ページ) を再確認してください。



タイヤ周長について

タイヤ周長は、以下のタイヤ周長ガイドから、自転車のタイヤサイズを基に周長 (L) を見つける方法と、自転車のタイヤ周長 (L) を実測して求める方法があります。

- 自転車のタイヤ周長 (L) を実測して求める
タイヤの空気圧を適正にし、体重をかけた状態で、バルブ等の目印になるものを基準にしてタイヤを 1 回転させ、路面の寸法を測ります。



タイヤ周長ガイド

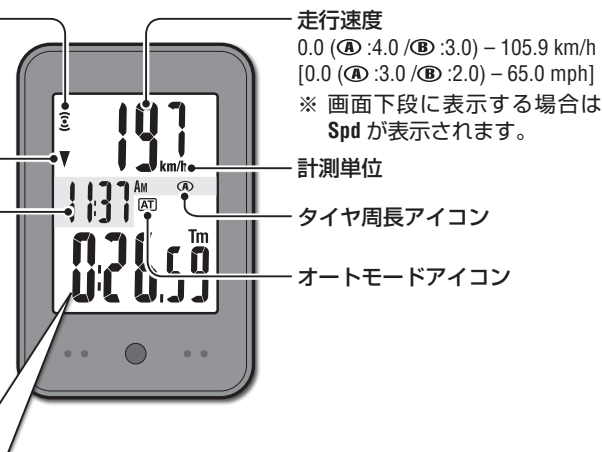
※ ETRTO やタイヤサイズはタイヤの側面に記載されています。

ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)	ETRTO	タイヤサイズ	L (mm)
47-203	12x1.75	935	57-559	26x2.125	2070
54-203	12x1.95	940	58-559	26x2.35	2083
40-254	14x1.50	1020	75-559	26x3.00	2170
47-254	14x1.75	1055	28-590	26x1-1/8	1970
40-305	16x1.50	1185	37-590	26x1-3/8	2068
47-305	16x1.75	1195	37-584	26x1-1/2	2100
54-305	16x2.00	1245		650C Tubuler 26x7/8	1920
28-349	16x1-1/8	1290	20-571	650x20C	1938
37-349	16x1-3/8	1300	23-571	650x23C	1944
32-369	17x1-1/4 (369)	1340	25-571	650x25C 26x1 (571)	1952
40-355	18x1.50	1340	40-590	650x38A	2125
47-355	18x1.75	1350	40-584	650x38B	2105
32-406	20x1.25	1450	25-630	27x1 (630)	2145
35-406	20x1.35	1460	28-630	27x1-1/8	2155
40-406	20x1.50	1490	32-630	27x1-1/4	2161
47-406	20x1.75	1515	37-630	27x1-3/8	2169
50-406	20x1.95	1565	18-622	700x18C	2070
28-451	20x1-1/8	1545	19-622	700x19C	2080
37-451	20x1-3/8	1615	20-622	700x20C	2086
37-501	22x1-3/8	1770	23-622	700x23C	2096
40-501	22x1-1/2	1785	25-622	700x25C	2105
47-507	24x1.75	1890	28-622	700x28C	2136
50-507	24x2.00	1925	30-622	700x30C	2146
54-507	24x2.125	1965	32-622	700x32C	2155
25-520	24x1 (520)	1753		700C Tubuler	2130
	24x3/4 Tubuler	1785	35-622	700x35C	2168
28-540	24x1-1/8	1795	38-622	700x38C	2180
32-540	24x1-1/4	1905	40-622	700x40C	2200
25-559	26x1 (559)	1913	42-622	700x42C	2224
32-559	26x1.25	1950	44-622	700x44C	2235
37-559	26x1.40	2005	45-622	700x45C	2242
40-559	26x1.50	2010	47-622	700x47C	2268
47-559	26x1.75	2023	54-622	29x2.1	2288
50-559	26x1.95	2050	60-622	29x2.3	2326
54-559	26x2.10	2068			

センサー信号アイコン
センサーの信号を受信して点滅します。

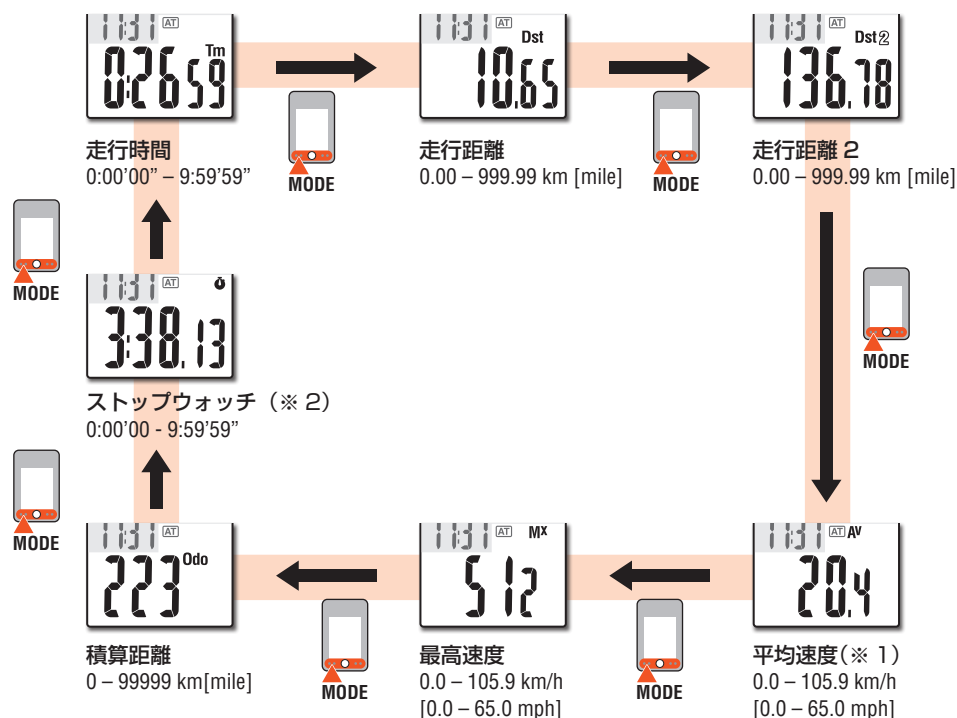
ベースアロー ▲▼
走行速度が平均速度より速い (▲) か遅い (▼) かを表します。

時計表示



選択データの切替

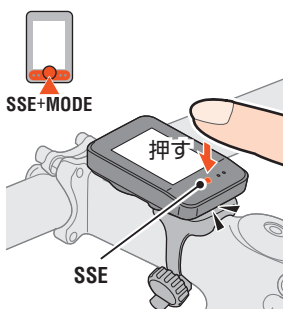
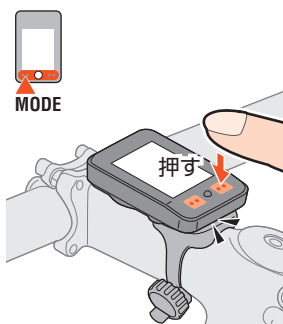
MODE を押すと下図の順に画面下段の計測データが切替ります。



*1 Tm 約 10 時間、または Dst 999.99 km を超えると .E が表示され計測できません。データのリセットを行ってください。

*2 ストップウォッチはオートモードがオンのときのみ表示されます。

ブラケット装着時の MODE 操作



計測のスタート/ストップ

自動計測と手動計測の 2 つの方法があります。
初期設定は、自動計測が設定されています。

設定方法 「コンピュータの設定変更: オートモード選択」
(7 ページ) を参照してください。

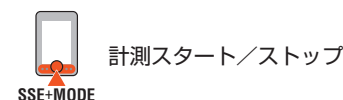
計測中は計測単位 (km/h または mph) が点滅します。

※ 最高速度と積算距離は計測のスタート/ストップに関わらず更新します。

- オートモード (自動計測) (AT 点灯)
自転車の動きに合わせて自動で計測を行います。



- 手動計測 (AT 消灯)
SSE と共に本体を押すことで計測をスタート/ストップします。



※ コンピュータ単体で操作するときは、表面の SSE と裏面の MODE を同時に押してください。

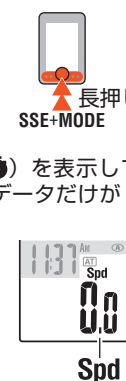
データのリセット

計測画面で SSE と共に本体を押し続けると、積算距離 (Odo)、走行距離 2 (Dst2)、ストップウォッチ (⌚) を除く、すべての計測データが 0 に戻ります。

※ 積算距離 (Odo) はリセットできません。

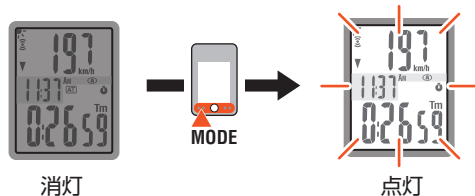
- 走行距離 2、ストップウォッチの単独リセット
走行距離 2 (Dst2)、またはストップウォッチ (⌚) を表示して SSE と共に本体を同時に押し続けると、表示中のデータだけが 0 に戻ります。

※ 走行距離 2 またはストップウォッチを上段に表示しているときは、下段表示を走行速度 (Spd) に切替えてリセット操作を行います。

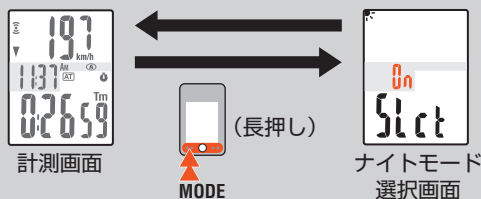


バックライト（ナイトモード）

ナイトモードをオンにすると **MODE** を押したときバックライトを点灯（5 秒間）させることができます。点灯中にいずれかのボタンを押すと、さらに 5 秒間点灯が延長されます。



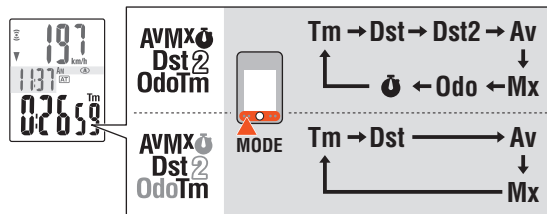
設定方法 **MODE** の長押しでナイトモード設定に移行します。もう一度、長押しするとナイトモードがオンになり計測画面に戻ります。



- ※ ナイトモードは 10 分間の無信号状態で自動的にオフになります。
- ※ メニュー画面からオン／オフを切替えることもできます。「コンピュータの設定変更：ナイトモード選択」（6 ページ）を参照してください。
- ※ （バッテリーアイコン）の点灯時は、ナイトモードがオンでもバックライトは点灯しません。

ファンクション設定

下段に表示する選択データの項目をスキップさせることができます。



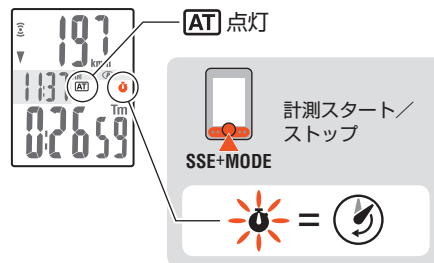
設定方法 「コンピュータの設定変更：ファンクション設定」（7 ページ）を参照してください。

- ※ 走行速度（Spd）、走行時間（Tm）は非表示にできません。
- ※ 画面上段に切替えた機能を非表示にすると、画面上段は走行速度（Spd）に戻ります。
- ※ 計測は非表示の選択データも行われ、再度表示すると、計測結果が反映されます。（ストップウォッチは除く）

ストップウォッチ

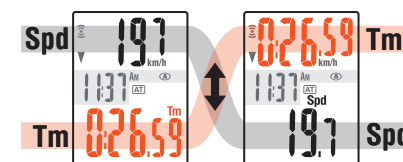
計測のスタート／ストップに関わらず時間を計測できます。この機能はオートモードがオン（**AT** 点灯）のときのみ使用できます。

- スタート／ストップ： **SSE** と共に本体を押します。計測中は が点滅します。
- リセット： を表示した状態で **SSE** と共に本体を長押しします。
- ※ 走行距離 2 またはストップウォッチを上段に表示しているときは、下段表示を走行速度（Spd）に切替えてリセット操作を行います。



上段表示切替

任意の選択データを画面上段に切替え常時表示させることができます。

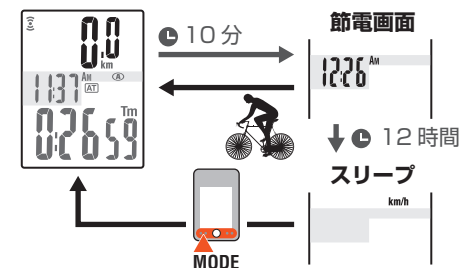


設定方法 「コンピュータの設定変更：上段表示切替」（6 ページ）を参照してください。

※ オートモードがオフのときは、ストップウォッチは設定できません。

節電機能

約 10 分間信号が入らないと時刻表示だけの節電画面になります。**MODE** を押すかセンサー信号が入ると計測画面に戻ります。

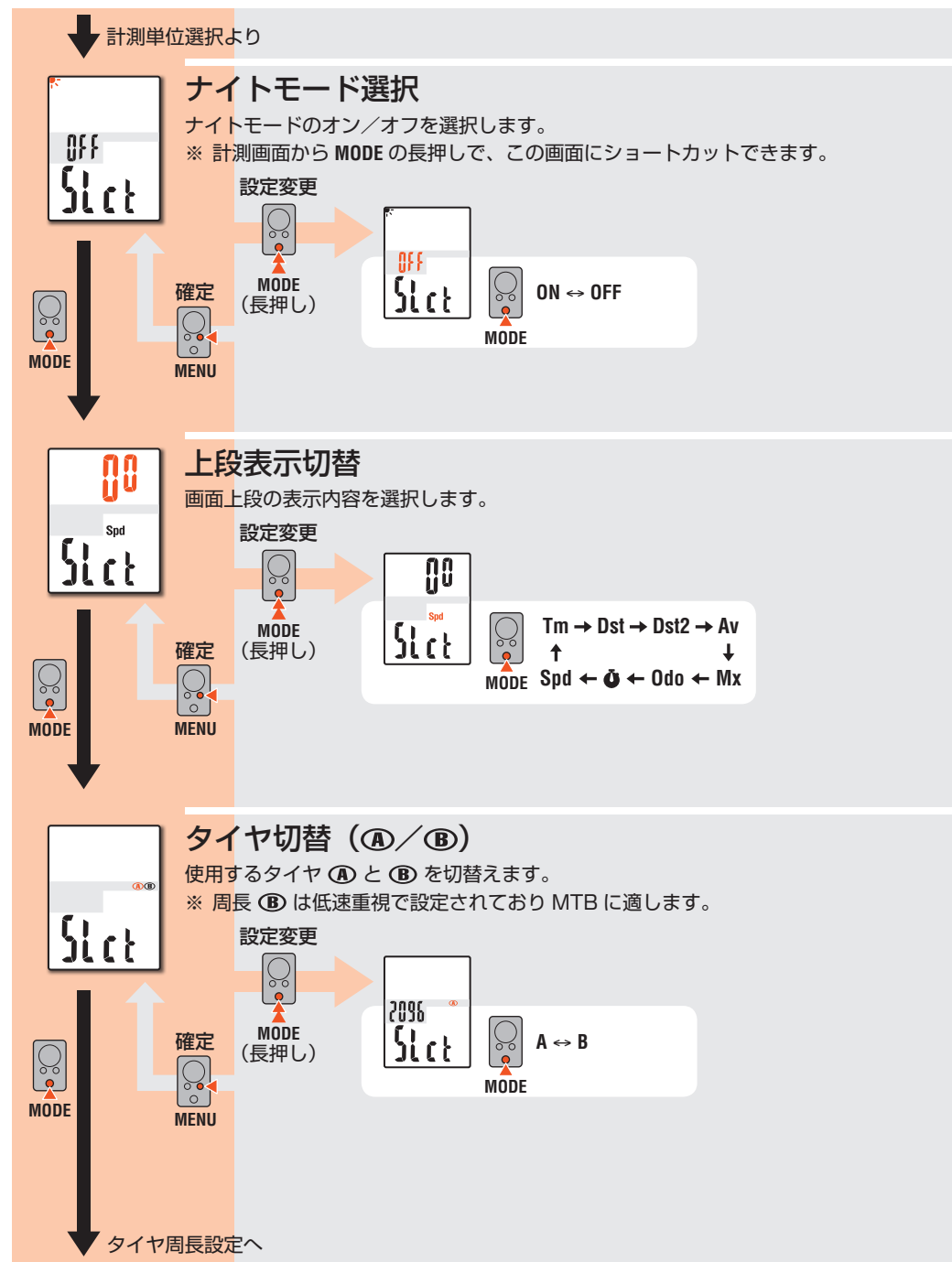
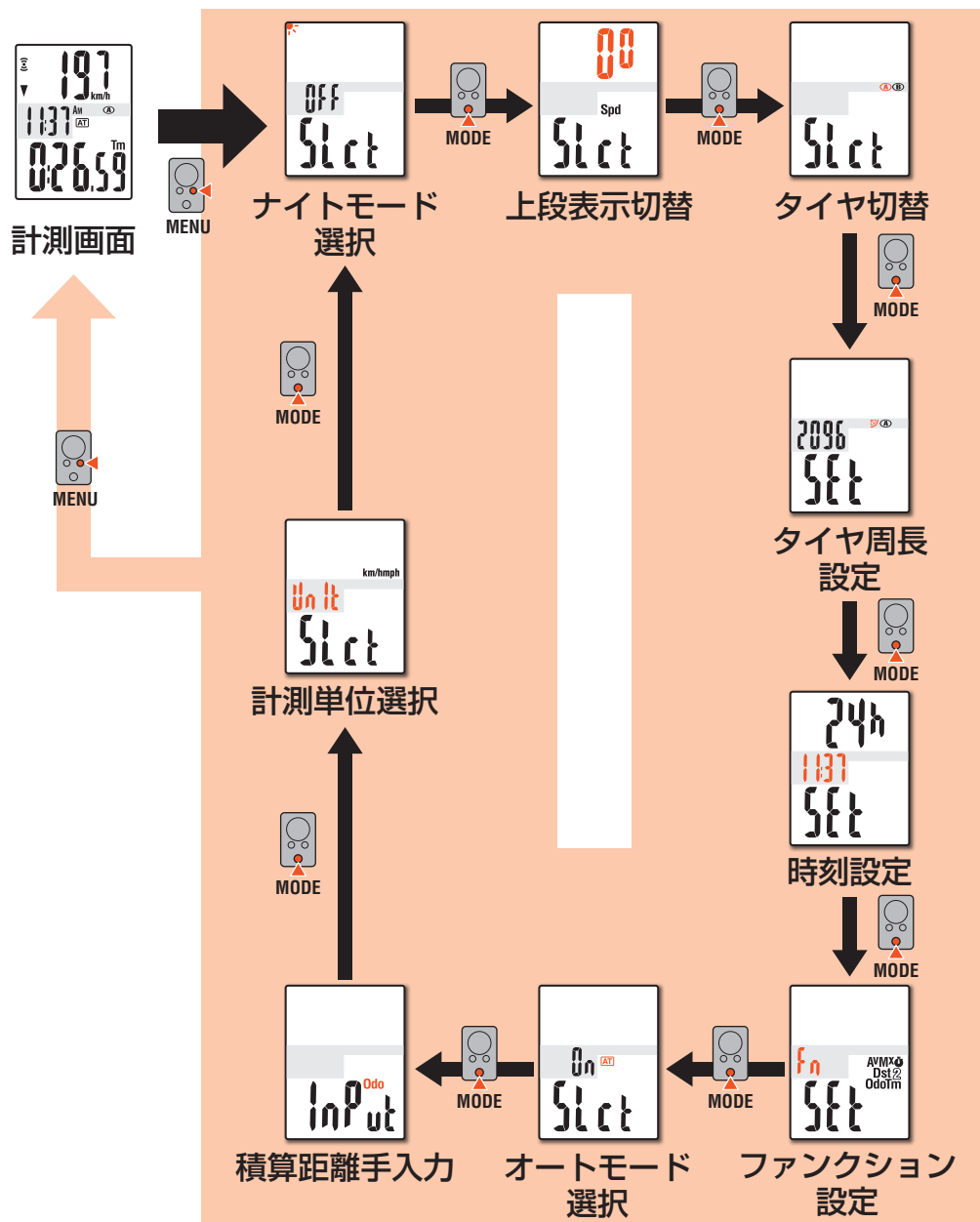


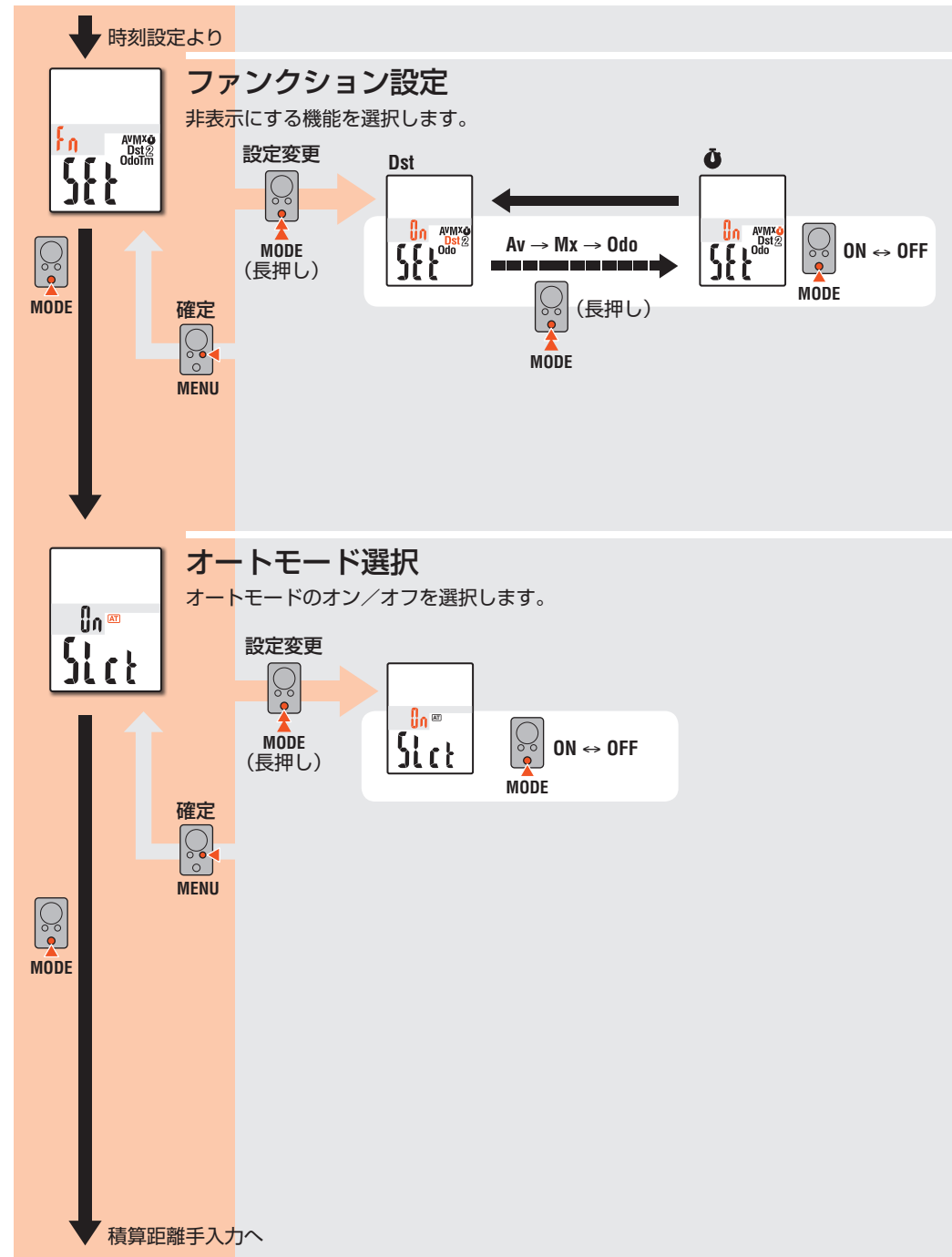
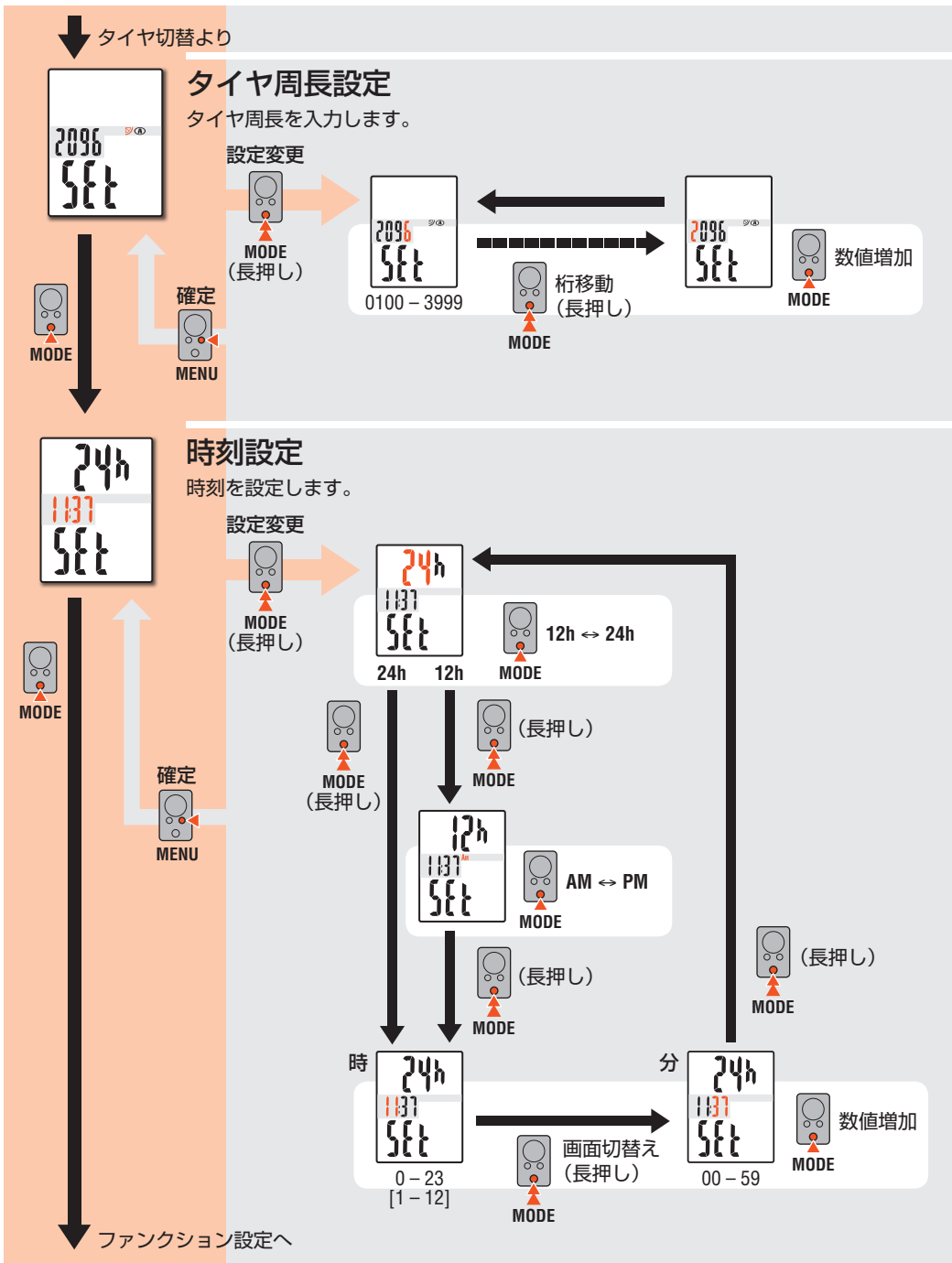
※ 節電画面からさらに 12 時間放置すると計測単位だけの表示になります。この状態からは **MODE** を押すことで計測画面に戻ります。

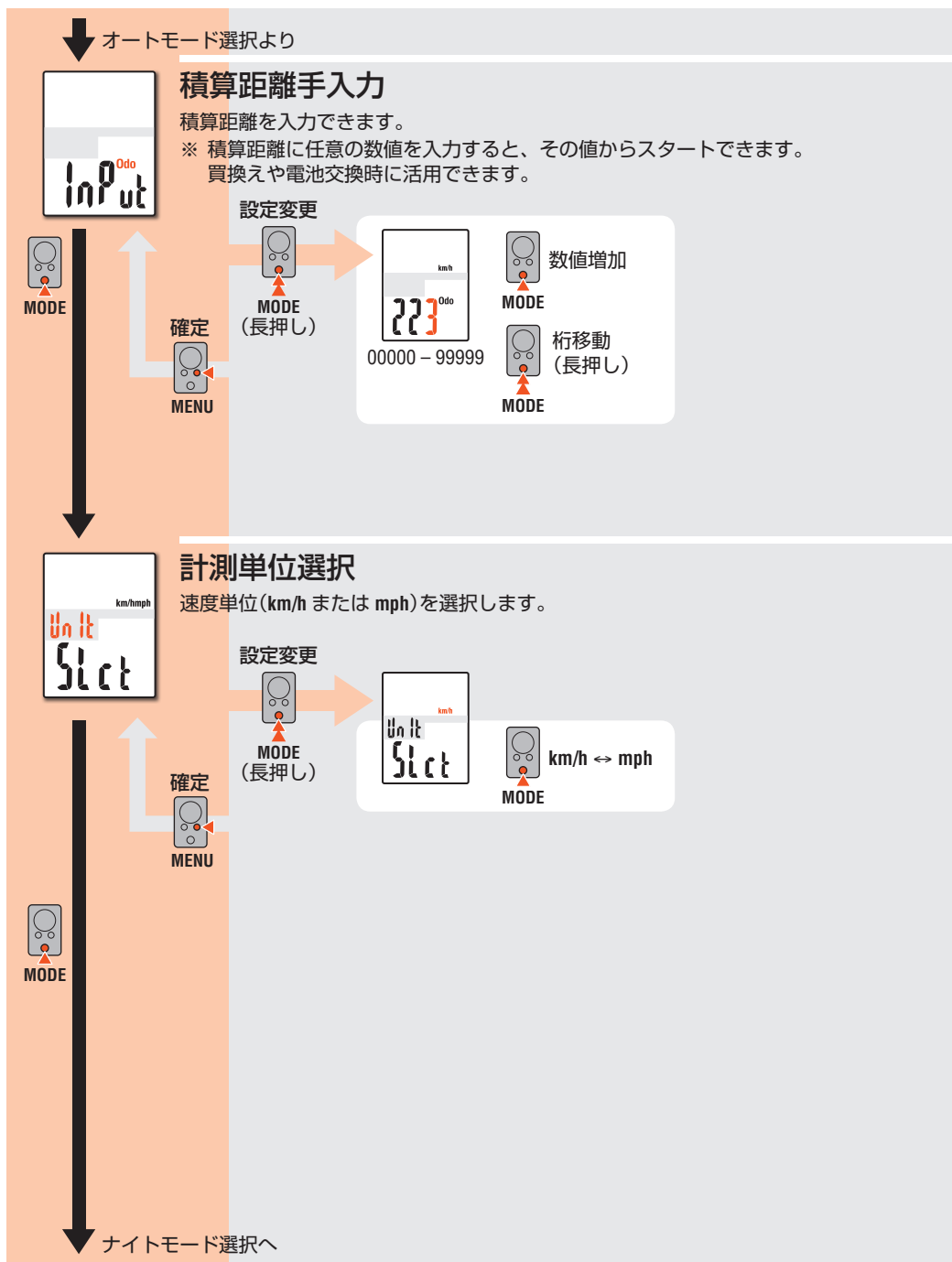
計測画面で **MENU** を押すとメニュー画面に移行します。メニュー画面では、各種設定を変更することができます。

※ 設定を変更した後は、必ず **MENU** を押して変更内容を確定してください。

※ メニュー画面で 1 分間放置すると計測画面に戻ります。







メンテナンス

コンピュータや付属品が汚れたら、薄い中性洗剤を湿らせた柔らかい布で拭いた後、から拭きしてください。

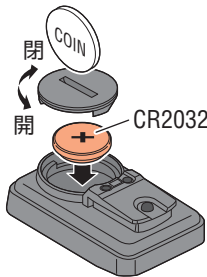
電池の交換

コンピュータ

🔋（バッテリーアイコン）が点灯すると電池の交換時期です。新しいリチウム電池（CR2032）を（+）側が上面に見えるように挿入します。

※ 交換後は必ず「コンピュータの準備」（3 ページ）の手順に従ってください。

※ 電池交換の前に積算距離値をメモし、交換後に手入力すると積算距離を継続できます。

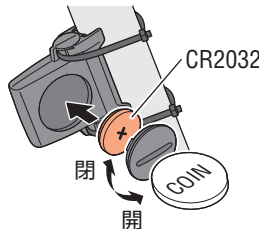


センサー

正しい調整をしても速度を表示しない場合は電池の交換時期です。

新しいリチウム電池（CR2032）を（+）側が見えるように挿入し、バッテリーカバーをしっかりと閉めます。

※ 交換後はマグネットとの位置関係を確認してください。



トラブルシューティング

センサー受信アイコンが点滅しない。（スピード表示が出ない）
（コンピュータをセンサーに近づけて前輪を回します。センサー受信アイコンが点滅する場合は、異常ではなく、電池消耗などによる受信距離の問題です）

センサーとマグネットの間隔が離れすぎていませんか？
（間隔 5 mm 以内）

マグネットはセンサーゾーンを通過していますか？

マグネット・センサーの位置を調節し直してください。

コンピュータの取付角度は正しいですか？

コンピュータ底面がセンサーを向くようにしてください。

コンピュータとセンサーの距離は正しいですか？
（間隔 20 ～ 70 cm 以内）

センサーの取付位置を範囲内にしてください。

コンピュータまたはセンサーの電池が消耗していませんか？
特に冬期は電池の能力が低下します。

「電池の交換」の手順に従って新しい電池に交換してください。

ボタンを押しても全く表示が出ない。

「電池の交換」の手順に従ってコンピュータの電池を交換してください。

異常な表示が出る。

「コンピュータの準備」（3 ページ）の手順に従ってオールクリアしてください。
これまで計測したデータは全て消去されます。

バックライトが点灯しない。

🔋（バッテリーアイコン）が点灯していませんか？

電池残量が少なくなると点灯しません。
「電池の交換」の手順に従ってコンピュータの電池を交換してください。

製品仕様

使用電池／電池寿命	コンピュータ	リチウム電池（CR2032）× 1／約 1 年（1 日 1 時間使用時、使用環境により異なる）
	センサー	リチウム電池（CR2032）× 1／積算距離で約 10000 km [6250 mile]

※ バックライトを多用した場合は極端に短くなります。
※ 気温 20℃ でセンサー・コンピュータ間 65 cm に取付けた時の平均値。
※ あらかじめ装着されている電池の寿命は、上記より短い場合があります。

制御方式	4 bit 1- chip マイクロコンピュータ (水晶発振器)	
表示方式	液晶表示	
検知方式	無接触磁気センサー	
送受信距離	20 ～ 70 cm の範囲	
タイヤ周長 範囲	0100 mm ～ 3999 mm (初期値 A:2096 mm、B: 2050 mm)	
使用温度範囲	0℃～ 40℃ (動作保証範囲：範囲外は表示の視認性が悪化します)	
寸法・重量	コンピュータ	53.5 x 36 x 17.5 mm / 26 g
	センサー	41.5 x 36 x 15 mm / 15 g

※ 仕様及び外観は、改良のために予告なく変更することがあります。

製品保証について

2 年間保証：コンピュータ／センサーのみ
（付属品及び電池の消耗は除く）

正常な使用状態で故障した場合は、無料修理・交換いたします。お送りいただく前に E メール・お電話などで弊社カスタマーサービスにお問い合わせください。返品にあたっては、お客様の連絡先・故障状況などを明記の上、ご購入日が確認できる領収書のコピーなどを添えて、当社宛てに直接お送りください。ご購入日が特定できない場合、保証期間は製造年月日から起算させていただきます。事故などによる外的要因や取扱説明書に記載していない用途・方法での誤使用による要因では保証の対象外となります。なお、お送りいただく際の送料はお客様にてご負担願います。修理完了後、送料弊社負担でお届けさせていただきます。

【宛先】

株式会社 **キャットアイ** カスタマーサービス

〒546-0041 大阪市東住吉区桑津 2 丁目 8 番 25 号

TEL : (06)6719-6863 ダイアルイン

FAX : (06)6719-6033

E メール：support@cateye.co.jp

オプション部品

交換部品

標準部品



パーツキット



スピードセンサー



ブラケットバンド



ブラケット



ホイールマグネット



リチウム電池



ナイロンタイブラケット